

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

令和03年03月26日

計画の名称	東海市における公共下水道整備の実現（重点計画）												
計画の期間	平成30年度～令和04年度（5年間）										重点配分対象の該当	○	
交付対象	東海市												
計画の目標	下水道整備を行い、安全・安心・快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	5,767	A	5,767	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H30当初)	中間目標値 (R2末)	最終目標値 (R4末)
1	下水道処理人口普及率を79.8%（H29末）から87.7%（R4末）に増加させる 下水道処理人口普及率 下水道を利用できる人口（人） / 行政人口（人）	80%	85%	88%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H30	H31	R02	R03	R04				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
下水道事業	A07-001	下水道	一般	東海市	直接	東海市	管渠(汚水)	新設	東海処理区	A=148.7ha	東海市						4,980		-	
	A07-002	下水道	一般	東海市	直接	東海市	ポンプ場	新設	下名和中継ポンプ場	新設・増設	東海市						79		-	
	A07-003	下水道	一般	東海市	直接	東海市	ポンプ場	新設	下名和中継ポンプ場	新設・増設	東海市						96		-	
	A07-004	下水道	一般	東海市	直接	東海市	終末処理場	新設	東海市浄化センター	新設・増設	東海市						612		-	
												小計						5,767		
												合計						5,767		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H30	H31	R02		
配分額 (a)	358	166	270		
計画別流用増 減額 (b)	0	0	10		
交付額 (c=a+b)	358	166	280		
前年度からの繰越額 (d)	0	77	0		
支払済額 (e)	281	243	184		
翌年度繰越額 (f)	77	0	96		
うち未契約繰越額(g)	0	0	0		
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0		
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0	0	0		
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

事前評価チェックシート

計画の名称： 東海市における公共下水道整備の実現（重点計画）

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性 基本方針・上位計画等との適合等 1) 上位計画と適合している。上位計画（流域別下水道整備総合計画、全県域汚水適正処理構想）	○
I. 目標の妥当性 基本方針・上位計画等との適合性 2) 東海市公共下水道事業計画と適合している。	○
I. 目標の妥当性 基本方針・上位計画等との適合等 3) 関連する他事業の計画と適合している。関連する他事業（流域下水汚泥処理事業）	○
I. 目標の妥当性 基本方針・上位計画等との適合等 4) 各種事業計画が策定され、適合している。	○
I. 目標の妥当性 基本方針・上位計画等との適合等 5) 各種法令（都市計画法、下水道法等）を遵守している。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応 地域の課題と整備計画の目標の整合が図られている。	○
II. 計画の効果・効率性 整備計画の目標と定量式指標の整合性 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 整備計画の目標と定量式指標の整合性 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 整備計画の目標と定量式指標の整合性 3) 指標・数値目標が分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 1) 十分な事業効果が確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 2) 他の事業との連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境 1) 長期的収支計画の見通しが健全と判断される。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境 2) 関係機関との協議、住民等の合意形成等を踏まえて事業実施の確実性が高い。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境 3) その他、事業実施のための環境整備が図られている。	○

(参考図面) 水の安全・安心基盤整備

計画の名称	東海市における公共下水道整備の実現（重点計画）		
計画の期間	平成30年度 ～ 令和4年度（5年間）	交付対象	東海市

